



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 株式会社MCJ

上場取引所 東

コード番号 6670 URL <http://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼最高財務責任者 (氏名) 石戸 謙二

TEL 03-6739-3991

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	90,050	15.4	5,983	1.9	6,022	4.1	4,047	1.5
29年3月期第3四半期	78,034	4.4	5,874	48.2	5,787	55.5	4,108	79.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 5,155百万円 (89.4%) 29年3月期第3四半期 2,721百万円 (82.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	83.23	
29年3月期第3四半期	84.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	64,840	32,563	49.4
29年3月期	55,963	28,661	50.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 32,049百万円 29年3月期 28,211百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		26.00	26.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				33.75	33.75

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成30年2月2日)公表いたしました「配当方針の変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,953	5.7	8,000	7.2	8,013	6.8	5,470	8.8	112.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	50,870,600 株	29年3月期	50,862,300 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,231,137 株	29年3月期	2,231,137 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	48,635,388 株	29年3月期3Q	48,631,236 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnet及び当社ホームページに同時に掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### <連結経営成績の概要>

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等により、引き続き緩やかな回復基調で推移しております。その一方で海外においては、欧米やアジア新興国等の不安定な政治動向や地政学リスクによる懸念から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社グループの属するパソコン市場は、国内の当第3四半期のパソコン出荷台数は依然として低迷が続いており、前年同期比で3.9%減少、出荷金額については前年同期比で0.6%の増加となりました。

このような状況の中、当期上期においては、前期上期に実施していなかったテレビCM等の大規模な広告宣伝による先行投資を行ったことにより、第2四半期までは前年同期比で計画、実績共に減益となっておりますが、当第3四半期においても引き続きパソコン事業が堅調を維持した結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は90,050百万円（前年同四半期比15.4%増）、営業利益は5,983百万円（同1.9%増）、経常利益は6,022百万円（同4.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,047百万円（同1.5%減）となり、営業利益及び経常利益も前年同期を上回る結果となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### ① パソコン関連事業

「mouse」ブランド及び高付加価値、特化型製品であるクリエイター向けパソコン「DAIV」、ゲーム向けパソコン「G-Tune」等のBT0（受注生産）、完成品パソコンの製造・販売と、「iiyama」ブランドによる汎用に加え、タッチパネル、デジタルサイネージ等の欧州におけるモニタ販売を中心に、マーケットのニーズを的確に汲み取りながら事業を展開しております。

パソコン市場全体が低迷する中、引き続き市場ニーズに合致した特化型製品への注力を通じた差別化を図ると共に、知名度向上によるマーケットシェア拡大策を狙ったテレビCM、Web広告等の広告宣伝効果により、パソコンのEC及び法人を中心とした各販売チャネルにおける売上が堅調に推移したことや欧州でのモニタ販売が引き続き好調であったことに加え、保有不動産の売却という一時的な要因もあったことから、当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は87,500百万円（前年同四半期比16.0%増）、営業利益は5,889百万円（同5.1%増）となりました。

#### ② 総合エンターテインメント事業

「aprecio」ブランドで複合カフェ店舗の運営を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は2,613百万円（前年同四半期比0.3%増）となったものの、既存店舗が苦戦したことに加え、販管費が増加したこと等により、営業利益は206百万円（同19.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は64,840百万円となり、前連結会計年度末と比べて8,877百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は32,277百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,976百万円の増加となりました。これは主に、買掛金等の営業債務や借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は32,563百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,901百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したうえ、為替換算調整勘定の増加によりその他の包括利益累計額が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績につきましては、2017年5月12日に公表しました予想数値に対し概ね順調に進捗しており、通期の連結業績予想の修正を必要としない範囲で推移しております。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

なお、配当方針につきましては、2018年2月2日付「配当方針の変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社グループは、主力事業であるパソコン関連事業においてマーケットのニーズを的確に汲み取りながら、2016年5月13日に公表しました2019年度を最終年度とする中期経営計画に基づき、広義のITデバイス製品のタイムリーな開発・仕入れ・販売等を通じて、従来から持つ競争力を引き続き強化するとともに、M&A等により進出した新規事業分野を積極的に育成し、連結業績予想及び中期経営計画の達成に向けて経営努力を重ねてまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,881,183	16,392,034
受取手形及び売掛金	12,634,204	15,231,128
商品及び製品	13,709,661	16,953,346
仕掛品	1,188,120	130,742
原材料及び貯蔵品	4,324,519	5,903,720
その他	1,873,797	2,494,740
貸倒引当金	△12,817	△10,072
流動資産合計	48,598,669	57,095,641
固定資産		
有形固定資産	4,501,228	4,472,668
無形固定資産		
のれん	640,567	601,836
その他	475,180	536,374
無形固定資産合計	1,115,747	1,138,211
投資その他の資産		
その他	1,822,072	2,201,768
貸倒引当金	△74,624	△67,406
投資その他の資産合計	1,747,448	2,134,362
固定資産合計	7,364,424	7,745,242
資産合計	55,963,094	64,840,884
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,750,648	11,208,153
短期借入金	5,131,224	7,738,910
未払法人税等	1,320,330	1,336,210
製品保証引当金	725,767	847,563
その他の引当金	526,917	395,876
その他	3,628,165	3,761,645
流動負債合計	19,083,054	25,288,359
固定負債		
長期借入金	7,220,703	5,247,967
退職給付に係る負債	294,915	292,440
その他	702,678	1,448,807
固定負債合計	8,218,296	6,989,214
負債合計	27,301,351	32,277,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,849,104	3,854,491
資本剰余金	8,502,982	8,508,360
利益剰余金	16,640,972	19,424,526
自己株式	△470,144	△470,144
株主資本合計	28,522,914	31,317,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,131	3,131
為替換算調整勘定	△351,494	723,352
退職給付に係る調整累計額	37,170	6,127
その他の包括利益累計額合計	△311,192	732,611
非支配株主持分	450,021	513,465
純資産合計	28,661,743	32,563,310
負債純資産合計	55,963,094	64,840,884

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	78,034,401	90,050,856
売上原価	59,585,818	70,113,267
売上総利益	18,448,583	19,937,588
販売費及び一般管理費	12,574,369	13,953,759
営業利益	5,874,213	5,983,829
営業外収益		
受取利息	26,101	46,462
負ののれん償却額	13,814	13,814
受取手数料	51,503	36,516
その他	77,080	54,706
営業外収益合計	168,499	151,500
営業外費用		
支払利息	34,888	61,104
為替差損	174,346	31,981
支払手数料	31,629	11,028
その他	14,601	8,907
営業外費用合計	255,465	113,022
経常利益	5,787,248	6,022,307
特別利益		
固定資産売却益	436,215	2,240
関係会社株式売却益	112,683	-
特別利益合計	548,899	2,240
特別損失		
固定資産売却損	367	-
固定資産除却損	1,899	4,526
減損損失	199,256	1,098
訴訟関連損失	195,371	-
訴訟損失引当金繰入額	193,614	-
賃貸借契約解約損	1,932	9,055
事務所移転費用	-	8,667
災害による損失	11,351	-
その他	-	2,220
特別損失合計	603,792	25,569
税金等調整前四半期純利益	5,732,354	5,998,978
法人税、住民税及び事業税	1,584,516	1,903,147
法人税等調整額	△41,214	△15,578
法人税等合計	1,543,302	1,887,569
四半期純利益	4,189,052	4,111,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	80,906	63,444
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,108,146	4,047,964

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	4,189,052	4,111,408
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,435,866	1,074,846
退職給付に係る調整額	△31,731	△31,042
その他の包括利益合計	△1,467,597	1,043,803
四半期包括利益	2,721,454	5,155,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,640,548	5,091,768
非支配株主に係る四半期包括利益	80,906	63,444

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテイ ンメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,431,680	2,602,721	78,034,401	—	78,034,401
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,953	1,642	14,596	△14,596	—
計	75,444,634	2,604,363	78,048,998	△14,596	78,034,401
セグメント利益	5,604,426	256,653	5,861,079	13,134	5,874,213

(注) 1. セグメント利益の調整額13,134千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△406,539千円、セグメント間取引消去419,557千円、その他の調整額115千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテイ ンメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	87,437,538	2,613,317	90,050,856	—	90,050,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,844	—	62,844	△62,844	—
計	87,500,383	2,613,317	90,113,700	△62,844	90,050,856
セグメント利益	5,889,981	206,865	6,096,847	△113,017	5,983,829

(注) 1. セグメント利益の調整額△113,017千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△536,337千円、セグメント間取引消去423,414千円、その他の調整額△94千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。